

## 「富士通サイバーセキュリティ宣言」

ICTの進歩はとどまるところを知らず、あらゆるモノがネットワークでつながり、従来の概念を根本から変える社会インフラが形成される時代となっています。この新しい時代において、私たちは、膨大なデータから生み出されるインテリジェンス、複雑につながったサービスにより、様々な価値を享受しています。

これらの価値の源泉となる情報の流通を支えるサイバー空間のセキュリティを確保することは、ICTを事業の根幹とする富士通グループの責務であり、社会の安定及び持続的発展、ならびに富士通グループの成長を図るうえで大変重要な取組みであると認識しています。

富士通グループは、ICTのリーディングカンパニーとして、グループの総力を挙げてサイバーセキュリティの確保に取り組むことにより、FUJITSU Wayに掲げる快適で安心できるネットワーク社会に貢献し、豊かで夢のある未来の実現に向けて邁進して参ります。

### 1. グローバルなICT企業として

- 優れたテクノロジーに基づく、ICTプロダクトやサービスなどの、サイバーセキュリティソリューションの提供を通じ、サイバー空間を守り、日本国内のみならず国際社会の安定に貢献します。
- サイバーセキュリティに関する総合的なソリューションの提供を通じて事業の強化・拡大を図り、企業価値の向上に努めます。
- 良きICT企業として、ICTシステムの自由かつ健全な発展を指向します。

### 2. 自社対策として

- 国内および海外のスタンダード、法制などに従い、サイバーセキュリティおよび情報セキュリティに関連する方針を明確に定義し、これを確実に実施することでグループ全体のサイバーセキュリティおよび情報セキュリティの確保に努めます。

### 3. 共通的な取組みとして

- 統合的なセキュリティ戦略に基づき、全社一体となって活動します。
- 社内におけるセキュリティ確保の取組みによる実践知を、お客様に対する取組みの実践知と融合させ、活用します。
- 高度なサイバーセキュリティ人材を計画的に育成します。
- 次々と高度化する攻撃に向け、常に新たなテクノロジーを求めて研究開発に注力します。
- 人材育成、情報共有・技術開発、投資の循環を通じてセキュリティ分野の健全な産業化が進むよう、国内外におけるエコシステム形成に努めます。
- 個人の尊厳を尊重し、セキュリティ対策がプライバシーや基本的人権の侵害を引き起こすことのないよう、十分に配慮します。

具体的には、以下のような取組みを進めて参ります。

- サイバー攻撃に対する検知、防御だけでなく、対処においてもお客様の事業継続と損害最小化を実現する技術、サービスを提供し続けます。
- センサー等の多様なデバイス活用を伴うIoT時代において、お客様が安心してビジネスを遂行できる環境を実現します。
- 人材や業務プロセスを含めたお客様の総合的なセキュリティ対策を支えるとともに、組織耐性の強化に向けたお客様の人材育成に貢献します。

以上